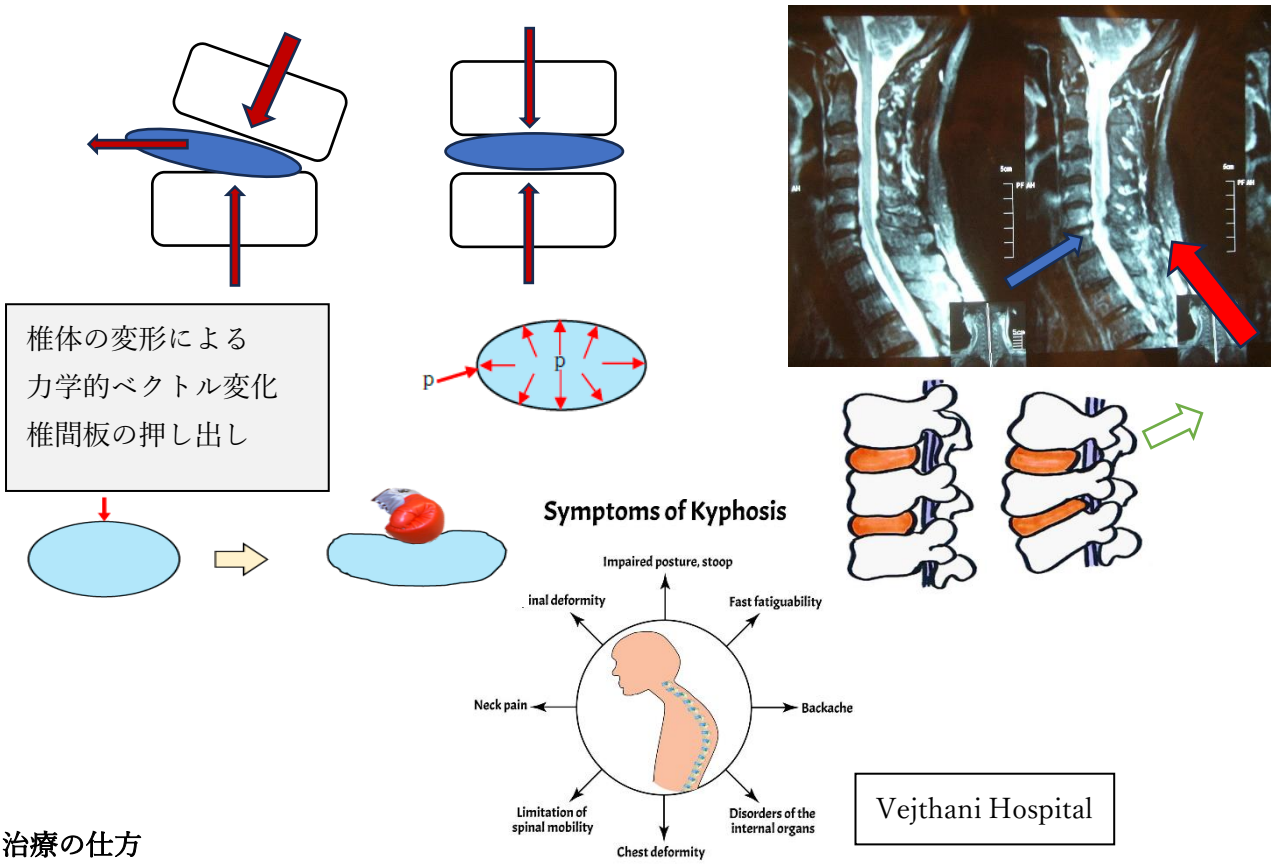
頸椎ヘルニアの捉え方

パスカルの原理

パスカルの原理とは、ブレーズ・パスカルによる「密閉容器中の流体は、その容器の形に関係なく、ある一点に受けた単位面積当りの圧力をそのままの強さで、流体の他のすべての部分に伝える。」という流体静力学における基本原理である。

椎間板ヘルニアとは「均等の力学的ベクトルの変化による一方的部分の変形」である。



治療の仕方

椎間板ヘルニアの「均等の力学的ベクトルの変化による一方的部分の変形」である。アライメントを整えることで改善する。

① 鍼治療で緊張した経穴の気をめぐらす。ポイント治療。いわゆる脊椎の左右・前後・上下のアライメント調整をする。

② 十二経絡の調整をする。全体のバランスを整える。

③ 前段階をしてから、脊椎矯正をする。これをしないと、また歪みが出やすい。

④ すると、アライメント調整された自己治癒力で椎間板を包んでいる靭帯のゆがみが調整され、髄核が元の位置に戻っていくため、神経圧迫が解消され寛解する。

専門家の方へ（医師、鍼灸師、理学療法士など）

① 体を全体的に俯瞰し、各アライメントを，どう調整したらいいかを、お考え下さい。

② 患部治療の優先順位を立ててください。腰椎→胸椎→頸椎調整など。いわゆる罹患部分の上流より、治療をする段取りを考えてください。」

③ もし治療経過が思わしくないときは、例えば１診の経過など、２診では脱落した罹患部分を優先治療するなど。